



みねのぶ

迎春



■発行日/令和2年1月1日/No.1413号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

令和2年の新春にあたり



代表理事組合長
森 川 和 德

令和2年の新春にあたり、組合員皆様、ご家族皆様がご健勝で新年を迎えたことに心よりお慶びを申し上げます。

また、関係機関の皆様よりご指導とご支援を頂いておりますことに、お礼申し上げます。

昨年10月、組合員皆さんから販売委託を受けた米について不正な出荷が発覚いたしました。皆さん組合に対する信頼を失わせる結果となり、深くお詫びを申し上げます。11月11日と12月5日の2回にわたり、組合員の皆さんに報告、説明をさせていただきました。中央会、顧問弁護士の指導・支援を頂き、事態の解明に努め、被害の回復に努めております。このような破廉恥な事態を起こさないために再発防止策策定に向け綱紀肅正・内部管理体制を一層の強化を図り、信頼を回復するため役職員一同、

誠心誠意取り組んでまいります。役員の責任につきましては、弁護士・中央会などを構成とする「役員責任調査委員会」を設置し検討を頂いた上明らかにしていく所存です。

当農協の来年度に向け、昨年を振り返りますと、主力作物である米は、開花期までは天候に恵まれて生育をしてきました。開花期以降成熟収穫期までの天候不順が豊穣の秋への期待を難しいものにしました。南空知の作況は104と発表され現場の農業者の思いとは遠いものでした。

また麦は順調に生育が進んだことから収量・品質に期待がかかりました。昨年産は開花期以降の曇雨天の影響で半作に近い収穫量であります。11月11日と12月5日の2回にわたり、組合員の皆さんに報告、説明をさせていただきました。中央会、顧問弁護士の指導・支援を頂き、事態の解明に努め、被害の回復に努めております。このような事態を起こさないために再発防止策策定に向け綱紀肅正・内部管理体制を一層の強化を図り、信頼を回復するため役職員一同、

を組み込むことで麦作に安定をもたらします。2005年の播種秋まき小麦は翌年春の雪腐病の大発生によつて廃耕を余儀なくされた圃場が多く、大豆作は大幅に増えました。以後5・6年ほど経過して大豆作は徐々に増加し今年度新大豆乾燥調製貯蔵施設の竣工に至りました。平成30年産大豆の作況は半作。令和1年産はほぼ平年作となりました。クリーナーにタピオカを採用し、色彩選別機を導入した効果について実需の皆様に丁寧に説明させていただき、オーダーに結び付けていきたいと考えています。今年度は新施設の減価償却費(30%の特別償却を含む)が大きいことから事業所得に赤字を計上しています。明年度以降確実に組合員皆さんにこの施設の効果(品質向上、手取り向上)を実感、更に大豆作付拡大と麦の品質収量安定を図ります。

峰延米を地域産米の銘柄「峰」として道内各地でお客様にお届けしています。峰延地域は泥炭土壌が多く後発窒素発現により高たんぱく米が出やすい傾向が強く大きな課題です。米の需給調整は政府が責任を持つて進められてきました。大きな環

境変化に地域を埋没させないため、「峰米」「峰延独自共計」に取り組み一元集荷の取り組みを始めたところです。現在この初めての取り組みを総括し、令和2年度の生産集荷対策に生かすことができるよう進めていきます。

地区別懇談会において今後の賦課金の在り様を提案させていただきました。土地改良期成会は5地区が活動しています。この事務量は岩見沢・美唄の二つの土地改良センターを加え、臨時職員を含め5名体制をとつていますが、今後人員の増員を考えるところもでています。また、農業推進業務はスマート農業対応、政策補助金対応等、地域農業がより安定発展するための一層組織結集を強めなければならぬと思います。「峰延米の一年目の成果」「賦課の在り方」について地区別懇談会開催前に組合員の皆さんに説明させていただく機会を設けたいと思います。

組合員皆さんの農業経営が安定発展し、農業経営をサポートできる職員を育成し、組合員の皆さんの家庭、職員の皆さんの家庭、双方が豊かで安定できることが地域農協には絶対必要必須なことと思

います。昨年起きてしまつた事件は二人の邪な心が引き起こしました。組合員の皆さん職員の皆さんのが理解と納得できる解決に決意をもつて導いていきます。令和2年多くのご意見とご協力をお願ひ申し上げます。

令和2年、組合員皆さん、職員の皆さんのご健勝をお祈り申し上げます。峰延農業協同組合の事業にご理解ご協力をお願い申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきま

す。

令和2年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
会長 飛田稔章

して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ広範囲にわたり農業被害が発生し一部蒔き直しが必要になつた地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことでの収穫も進みました。お米の作況指數が104の「やや良」、小麦てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ作目によつて違いはありますがあれ良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

その後は干ばつ等もありました
が、天候は順調に推移したこと
で収穫も進みました。お米の作況指
数が104の「やや良」、小麦
てん菜は平年作以上となる結果と
なり、生乳は良質な飼料作物確保
による安定的な生産が見込まれ
作目によつて違いはありますが概
ね良い出来秋を迎えることができ
たと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心で大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では1、100億円の生産減少額のうち3～4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行つております。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信することを目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、

られており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行つております。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

役員報酬審議会を開催

J A 役員の報酬額は総会の付議事項で毎年開催する通常総会に提案し承認を受けることになります。また、総会に提案する役員報酬の原案は組合長が役員報酬審議会に諮問し、役員報酬審議会が検討を行い組合長に答申し総会に議案を提出しています。

役員報酬審議会は規程に定められて設置する委員会で5名の委員で構成、手続きを経て選出された方々を組合長が任命し任期は3年です。

12月25日、昨年就任した役員報酬審議会委員による第1回役員報酬審議会が招集され、令和2年3月に開催の通常総会に提案する令和2年度の役員報酬について森川組合長から諮問されました。今後は、役員報酬審議会が検討を重ね通常総会に提案する原案を答申することになります。

農事組合の合併

岩見沢区域の「大願四」と「大願五」の2つの農事組合が合併します。令和2年1月から「大願」となります。

-報徳-

現世の報恩勤行が大切
翁のことばに、世間ありきたりの人情では、明日食うべき物がないときは、どこかへ借りに行こ

12月臨時理事会開催

12月2日開催の12月臨時理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

- 1・役員責任調査委員会の委員選任について

12月臨時理事会開催

12月12日開催の12月臨時理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

- 1・役員責任調査委員会の委員選任について

第11回（12月定例）理事会開催

理事会開催

12月19日開催の第11回（12月定期）理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 決算実地棚卸の実施について
2. 年末手当の支給について
3. 持分の減口について
4. 信用限度を超えた資金の貸付について

うとか、救いを請おうとかする気持ちがあるけれども、いよいよ明日食う物がないという時には、金も膳も椀も洗う気持ちがなくなるといつている。人情は実際そんなもので、もつともな事ではあるが、そういう気持ちが、困窮がその身を離れない根元なのだ。どうしてかというと、毎日金を洗い膳や椀を洗うのは、明日食おうがためであつて、昨日まで用いた恩のために洗うのではない。これが心得違いなのだ。たとえ明日食うべき物がなくとも、金も洗い膳も椀も洗い上げて餓死するがよい。それは、今日まで用いてきて命をつないだ恩があるからだ。これが、恩を思うという道なのであつて、この心がある者は、天意にかなうから、きっと長く富を離れない。富と貧とは、遠い隔たりがあるものではない。明日助かろうという事ばかり思つて、今日までの恩を思わないのと、明日助かろうと思ひながら昨日までの恩を忘れないのと、この二つの相違だけだ。これが大切な道理であつて、よくよく心得がよい。

ざれば、いづくんぞ死を知らん。」とある。人の本性は天の令命にある。身体は父母の賜である。我というものは、もともと天地の令命と父母の丹精とで出来たものだ。まずこの道理からつきとめて、天徳に報い、父母の恩に報いる行いを立てねばならぬ。本性にしたがつて道をふむのは人の勤めだ。この勤めさえ勵んでおれば、来世は願わなくとも安穏なことを疑いはない。どうして現世を仮の宿と軽んじ、来世だけを大切にすることがあろうか。現在には君があり父母があり妻子がある。だから現世は大切なのだ。釈迦がこれを捨てて世の外に立つたのは、衆生を済度するためだつた。世を救うには、世の外に立たなければ広く救いがたいからだ。それはちょうど、自分が座つている畠の外に移らなければ、掲げられないようなものだ。それを世間の人が、自分一身をよくするために君や親や妻子を捨てるのは、迷いというものだ。わが道の安心立命はここにある。迷つてはならない。

（夜一三五）

南美唄小学校米作り体験発表会に
青年部が招待を受ける

青年部に感謝状

12月3日、南美唄小学校で、今年当JAで行つた米作り体験の発表会が行われ、田植え、稲刈り脱穀作業の受け入れ支援を行つたJA青年部が招待されました。児童の発表会に先立つて、JA青年部に対し感謝状と収穫された米で作つたおにぎりが贈呈されました。

の前で発表を行いました。発表者は前に出て、発表する役割、パソコン操作する役割を交代で担い大きな声で発表を行つていきました。

J A 女性部が
女性セミナー開催

12月4日、J A 女性部（吉村俊子部長）が女性セミナーを開催しました。

今回はスゲを編み込んで、クリスマスリースと正月飾りを作りました。椿の花やモミの葉を始め



出来上がった作品を持ち記念写真



スゲの編み込みは
みんなで協力して

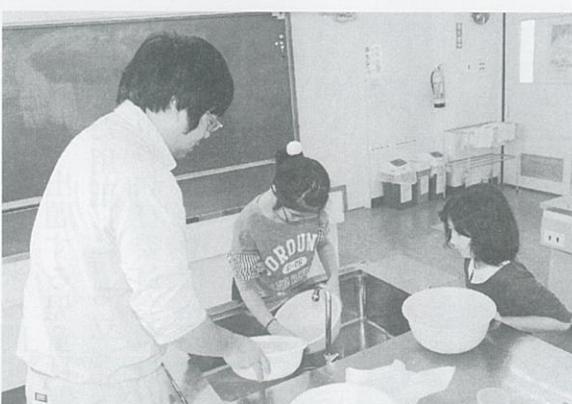
J A女性部が 女性セミナー開催

12月4日、JA女性部（吉村俊子部長）が女性セミナーを開催し12名が参加しました。

今回はスゲを編み込んで、クリスマスリースと正月飾りを作りました。椿の花やモミの葉を始め



佐藤職員が先生となり授業



「米研ぎ」を教える佐藤職員

教室でJA販売企画課の佐藤職員が先生となり、「農協の仕事」「峰延で生産する農産物」「精米とは」「米の販売について」等の授業を行いました。佐藤職員が、「農協はどのような仕事をしているか」と尋ねると児童は「レジ打ち」と答え、「峰延で生産される農作物は何か」と尋ねると「米、

佐藤職員の企画で、自宅でお母さんの手伝いをしてもらおうと「米研ぎ」を児童に教えました。佐藤職員が児童に「米研ぎ」をやつたことがあるかを問うと2人とも未経験、「米研ぎ」は家庭科室で佐藤職員が持参した白米を使つて行い、最初に佐藤職員がやり方を説明しながら手本を行い、続いて児童2名が実際に「米研ぎ」を行いました。

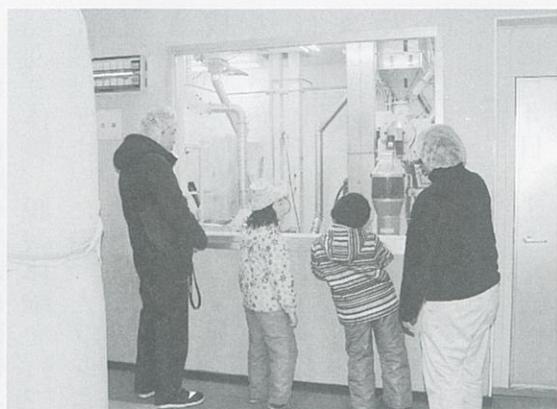
12月9日、JA職員が峰延小学校に出向き出前授業を行いました。

「麦、野菜」と答え、佐藤職員の問い掛けに児童はハキハキと答えていました。佐藤職員は農協で行つてある色々な業務を教えていまし

精米工場に移動、佐藤職員が精米の各工程と精米の方法等を説明しました。最後の工程で紙袋の紐を一つ一つ人が手で結んでいました。



製品米の紙袋の紐を手結び



JA精米工場の内部を見学



児童が作った豚汁とおにぎりをいただきます

峰延小学校お米パーティーに招かれる

12月12日、峰延小学校で開催された“お米パーティー”に本年度の米作り体験を支援したJA青年部が招かれ、代表して青年部組織専門委員の内田貴大さん、理事の佐藤勝彦さんとJA担当者の豆野職員が参加しました。

昼食時間帯に催されるお米パーティに参加する皆さんのが食べる料理は、当日2時間目となる9時30分から家庭科室で、5・6年生の児童11名でおにぎり（ツナマヨ、おかか）と豚汁を作りました。

おにぎりに使う米は、米作り体験で収穫した米を使い、ご飯は炊飯器ではなく、火加減が必要な鍋で炊きました。豚汁の具は全員が包丁で切り、味付けも児童が行いました。昼食の時間帯に招かれて、家庭科室に入るとテーブルのランチョンマットには招待した方の氏名と児童からの料理を作ったメッセージが書かっていました。おにぎりの具はツナマヨとおかかで、大きさ、塩加減も様々でしたが、豚汁もおにぎりも大変美味しく、青年部の皆さんはお代わりをしていました。



美味しいでお代わりしています

食事の後は、お米に関するクイズの時間、出題する児童は問題が書かれた用紙を持ち立つて出題、児童や市の教育委員会職員とJA青年部の招待者や校長先生、教頭先生に出題しました。知つてそうで答えられない問題が多く皆さん首を傾げていました。



お米に関するクイズの時間

J Aみねのぶ青年部 第72回通常総会開催する

12月20日、JA三階会議室で当JA青年部の第72回通常総会が開催されました。

総会では令和元年度の事業活動報告と収支決算が承認され、続い



開催挨拶をする伊藤青年部長

部長	今野 佑太
副部長	佐藤 勝彦
会計	内田 貴大
組織専門委員会	目黒 泰行
営農専門委員会	尾高 恵太
理事	星野 功平
監事	城山 展彰
監理	大西 耕司

北海道米「生産の目安」
前年比0・6%減

12月19日、北海道やJA北海道中央会などで構成する北海道農業再生協議会水田部会は2020年産北海道主食用米の「生産の目安」を53万4060トントと決めました。今回決めた目安は前年産の目標に比べ0・6%減で、国が全国的に米の需要減を見込む状況下で、北海道米の高い需要動向を考慮し全国の適正生産量（前年産適正生産量より1・4～1・2%減）より減少幅を抑え、ほぼ前年



新役員の皆さん

農業協同組合内部監査士
検定試験に合格

J A 全国中央会が令和元年度農業協同組合内部監査士検定試験の

並みの目安が維持されたことになります。

今回の北海道主食用米の目安を面積ベースで9万7402tとし、前年産の目安より628t減。加工用や新規需要米などを合わせた水稻全体の目安は、数量58万6614t、面積10万7049haと設定されました。

需要の高い加工用米は冷凍米飯などが、安定的需要が見込め前年産目安より5・4%増の3万2872tに設定、輸出用や飼料用などその「その他」は前年産の目安より11・5%減の1万9682tとされました。

【米生産の目安】

需要に見合った米の生産量を示す指標。国による生産調整（減反）が2017年産米を最後に廃止されたことに伴い、2018年から各道府県の農業再生協議会が設定していく、多くは作付面積とセットで設定。生産過剰による価格低下や大幅な作付面積減少を防ぐことなどを目的としている。

今年の日本の平均気温、歴代最高

12月23日、気象庁が発表した2019年の天候と台風のまとめによると、日本の年平均気温の速報値は基準値（平成22年までの30年平均）を0・92度上回り、明治31年の統計開始以来最も高温となる見通しとなります。

気象庁によると、年平均気温は、全国から15の観測点を抽出、それぞれの基準値の差から算出されました。全国的に気温の高い状態が1年を通じて続いたことが要因と

合格者を発表しました。
当JAの合格者は次のとおりです。合格おめでとうございます。
・豆野和樹（営農販売課）
農協職員資格認定試験
（上級）に合格
JA北海道中央会が令和元年度の基本資格（特級・上級・中級）の合格者を発表しました。当JAは上級の合格者が1人いて次の通りです。合格おめでとうございます。上級の合格率は56・7%でした。

◇上級（1人）
・豆野和樹（営農販売課）

交通事故発生時の連絡先のお知らせ

冬は交通事故が増加する傾向にあります。
JA共済ご契約車の事故時の連絡先をお知らせいたします。

曜日・時間帯	連絡先
金曜～金曜のJA営業時間内	JAみねのぶ金融課 0126-67-2113
上記以外及び土曜・日曜・祝日 (24時間365日受付)	JA共済事故受付センター フリーダイヤル 0120-258-931 【連絡事項】 ・加入JA名 ・契約者氏名 ・運転者名 ・契約番号 ・事故車のナンバー ・事故の日時と場所 ・事故発生状況 ・相手方の住所氏名 ・損害の程度など

※JA共済事故受付センターは携帯電話からもご利用いただけます。

※救急119、警察110のご連絡もお忘れなく。 (JAみねのぶ 金融課)

JA一部業務の臨時休業のお知らせ

日頃から当JAをご利用いただき誠にありがとうございます。

年度末決算棚卸のため下記の通り一部の業務を終日臨時休業いたします。ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解頂きますようお願いいたします。

なお、下記以外の業務は通常通り営業いたしますのでご利用をお待ちしています。

記

臨時休業する日 令和2年1月31日(金)

臨時休業の業務 ・営農資材店舗

・精米所

・倉庫

(JAみねのぶ 総務課)

冬型事故を防ぐためのアドバイス

◆『ゆとり』を持つ

出発前に、目的地までの天候や路面状況を把握して、時間に余裕を持ち、安全なルートを選択することが大切! 天候不良または悪化するおそれがある場合は「運転をしない」との判断も必要

◆スピードダウンと早めのブレーキ

夏場より速度を抑えて、急ハンドル・急ブレーキなど「急」のつく運転操作は厳禁! 車間距離を十分確保!

◆運転中、ホワイトアウトなど視界不良となった場合は…

視界不良のまま運転を続けることは、自分の走行車線が分からなくなり、対向車線を走行した事例もあり大変危険です。
駐車帯や最寄りの道の駅などで天候の回復を待ちましょう。

～令和元年12月1日、道路交通法等の一部改正により罰則が強化～

運転中のスマートフォン等の携帯電話を使用する際は安全な場所に停車を!

運転中にスマートフォン等の携帯電話を使用する行為 → 携帯電話使用等(保持)…通話(保持)、画像注視(保持)する行為

改 正 前		▶	改 正 後	
罰 則	反則金		罰 則	反則金
5万円以下の罰金			6月以下の懲役又は10万円以下の罰金	
大型…7千円			大型…2万5千円	
普通…6千円			普通…1万8千円	
二輪…6千円			二輪…1万5千円	
原付…5千円			原付…1万2千円	
点 数	1点		点 数	3点

さらに事故を起こした → 携帯電話使用等(交通の危険)…通話(保持)、画像注視(保持)、画像注視(非保持)することによって交通の危険を生じさせる行為

改 正 前		▶	改 正 後	
罰 則	反則金		罰 則	反則金
3月以下の懲役又は5万円以下の罰金			1年以下の懲役又は30万円以下の罰金	
大型…1万2千円			適用なし(反則金制度の対象外となり、すべて罰則の対象に)	
普通…9千円				
二輪…7千円				
原付…6千円				
点 数	2点		点 数	6点(免許停止)

JAグループ通信 42

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、日米貿易協定の発効を前に控えた状況下で、総合的なTPP等関連政策大綱などの見直し、経営所得安定対策の単価改定、加工原料乳補給金単価の設定など、農業の担い手が意欲と希望を持って一層の農業経営の体質強化に向かえるよう、政府・与党等に対し働きかけを行って参りました。

結果として、農業関係補正予算、当初予算とも前年を上回る額が措置されることに加え、農業生産基盤の強化や家族経営への支援などが盛り込まれるなど、北海道の農家・組合員の営農継続に一定の道筋をつけられました。

今後も北海道の農家・組合員が国際競争や災害に負けない力強い農業・農村の構築と所得向上の実現を図り、持続可能な北海道農業の確立に向けて取り組んでまいります。



吉川前農林水産大臣に要請書を手渡す
JAグループ北海道要請団

JA北海道信連



JA北海道大会の将来ビジョンの実現に向けて、JAグループ北海道農業経営フォーラムを札幌市内で11月に開催しました。今回のフォーラムでは、「農業経営に地域の魅力をいかす」をテーマに、宮城県で主に水稻と養豚を営む有限会社伊豆沼農産の伊藤社長より農村自体を产业化する取り組みについて、商品ジャーナリスト北村森氏より道内農畜産物の魅力を伝える秘策について講演がありました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、11月8日より「JA共済有村架純＆浜辺美波の限定LINEスタンプ」のダウンロードを開始しています。JA共済限定LINEスタンプの提供は、JA共済へ興味・関心をもっていただき、資料請求者をより一層拡大していくことを目的としてあります。有村架純＆浜辺美波の限定LINEスタンプのダウンロードについては、QRコードを読み込み、アンケートに回答いただきますとダウンロードすることができます。



ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」を広く発信し、北海道農業とホクレンの事業をわかりやすく伝えるためにアニメーション動画を制作し、12月19日からYouTube上で公開を開始しました。動画の主題歌には槇原敬之さん、主人公役の声優には「なつぞら」の番長役の板橋駿谷さんを起用し、WEB媒体を活用して道内生産者・JAおよび全国の消費者・取引先へ広く発信していきます。



JA北海道厚生連



令和元年11月30日(土)遠軽厚生病院にて遠軽町・湧別町・佐呂間町の中学生を対象に医療技術体験セミナーを開催しました。

当日は、46名の参加がありました。薬剤師や検査技師などの仕事を知り、進路選びの参考にもらう狙いで、毎年実施しています。

今後も継続して実施していきたいと思います。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



商品に関するお問い合わせは JA北海道厚生連 医療事業部 配置薬課

フリーコール 0120-99-4193 (無料)・受付時間 平日8:30~17:00

JA北海道厚生連 からだの大いに

野菜酵素青汁+トマトリコピン

野菜の栄養をギュッと
補酵素のちから

野草源酵素とお酢の飲料

ラブレゼリーII

JAみねのぶ

JA北海道厚生連

商品に関するお問い合わせは JA北海道厚生連 医療事業部 配置薬課 フリーコール 0120-99-4193 (無料)・受付時間 平日8:30~17:00

JA北海道厚生連 からだの大いに

野菜酵素青汁+トマトリコピン

野草源酵素とお酢の飲料

ラブレゼリーII

JAみねのぶ

JA北海道厚生連

商品に関するお問い合わせは JA北海道厚生連 医療事業部 配置薬課 フリーコール 0120-99-4193 (無料)・受付時間 平日8:30~17:00

JA北海道厚生連 からだの大いに

野菜酵素青汁+トマトリコピン

野草源酵素とお酢の飲料

ラブレゼリーII

JAみねのぶ

JA北海道厚生連

商品に関するお問い合わせは JA北海道厚生連 医療事業部 配置薬課 フリーコール 0120-99-4193 (無料)・受付時間 平日8:30~17:00